

# 第8次中期経営計画



# 第7次中期経営計画『Obelisk』の振り返り

## シェアUP力

国内GE市場内で15%シェア確立

金額シェア 11%

エルメッド株式会社子会社化  
2020年3月期 **達成**

## 供給能力

超品質に基づく185億錠供給体制確立

2018年1月  
新棟「オベリスク棟」稼働  
**185億錠体制**

✓ **達成**

## 開拓力

バイオシミラー・米国市場への参入

2017年11月  
インフリキシマブBS国内上市済

2016年8月  
Sagent社買収・**米国進出**

✓ **達成**

# 1 MISSION STATEMENT

我々は、我々のジェネリック医薬品が  
世界の患者様とそのご家族・薬剤師様・お医者様・  
卸売業者の方々・製薬企業の方々に  
必要とされ、提供し続ける為に  
自ら存続する努力を行い、  
ジェネリックメーカーとして世界で卓越する。

# 無限大の連繋力で今を超える



### 3 国内ジェネリック市場を取り巻く環境

#### 政治・経済

- 国内市場がジェネリック数量シェア80%超の時代へ
- 毎年の薬価改定により国内での収益力が継続的に下落
- 地域包括ケアシステムの構築を推進

#### 社会

- 安定供給、高度な品質管理、情報提供の要請
- 日々変化する関連法規制への対応  
(販売情報提供ガイドライン、ジェネリック医薬品の共同開発見直し)
- 予防・未病への期待

#### 市場動向

- バイオシミラーへの期待
- 多様な競合他社  
(卸・薬局傘下のジェネリックメーカーの台頭、新薬メーカーの積極的なAG展開、異業種の医薬品業界への参入等)
- 競争力のあるジェネリック医薬品を一定の数量供給可能なメーカーのみ必要とされる

## 4 成長の核となるシナジーの結合

日医工グループは様々なビジネスパートナーと連携・拡大・成長する中で創出される3つのシナジーを最大化し、患者様とそのご家族を中心に据えた事業を推進することで、**グローバル総合ジェネリックメーカー**へとさらなる進化を遂げる

事業領域の拡大を通じて実現する  
患者様とそのご家族へ向けた価値創造

領域/地域

PC  
(Patient Centric)

人財

コスト

オペレーションの最適化や  
規模の経済の享受による良質な利益創出

多様な文化・経験・価値観を持つ人材の  
最適配置による強みの発揮や融合による  
自律的な成長の促進

## 5 グローバル総合ジェネリックメーカーへの基本戦略

### ／ 実現したい姿 ／

- 特許期間が満了した医療用医薬品についてより広範な疾患領域・地域をカバーする
- バリューチェーンにおける全てのオペレーションを最適化し、ゆるぎない事業基盤を確立する
- 世界の患者様とそのご家族に「超品質」を安定的にお届けする
- 経営の健全性や透明性を維持し、社会的使命を果たすことで、患者様を含むステークホルダーからの継続的な信頼を確保する

### ／ 基本戦略 ／

#### 戦略1

事業領域のさらなる深化/進化

領域拡大

#### 戦略2

徹底したオペレーション  
最適化の追求

事業基盤

#### 戦略3

グローバル水準の  
品質確保、競争力強化

グローバル推進

#### 戦略4

ESG活動を基盤とした  
ライフサイエンス企業としての信頼確保

社会的責任

## 6 基本戦略と重点施策

### ／ 基本戦略 ／

#### 戦略1

### 事業領域のさらなる深化/進化

### ／ 重点施策 ／

#### 領域拡大

- ｜ 患者様とそのご家族の負担軽減及び医療費削減に貢献するため、バイオシミラー、抗がん剤ジェネリック等の製品ラインナップを拡充
- ｜ 地域社会に貢献する包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）への取り組みを促進
- ｜ 医療用医薬品メーカーとして患者様とそのご家族のためにビジネスパートナーとの戦略的提携を促進



## 6 基本戦略と重点施策

### ／ 基本戦略 ／

#### 戦略2

### 徹底したオペレーション最適化の追求

### ／ 重点施策 ／

#### 事業基盤

- | 患者様とそこご家族のニーズ（生の声）へ迅速に応える  
製品開発・製品改良
- | 国内最大のジェネリックメーカーとしての調達力・生産力を活かした  
原価低減及び製造内製化の促進
- | エルメッドとの統合効果の追求

## 6 基本戦略と重点施策

### ／ 基本戦略 ／

#### 戦略3

### グローバル水準の品質確保、競争力強化

### ／ 重点施策 ／

#### グローバル推進

- ｜ Sagentの強みであるジェネリック注射剤に加え、バイオシミラーの拡充、コンパウンドビジネス及びオーファンドラッグの強化による米国市場での事業規模拡大
- ｜ アジアにおける日医工ブランド製品の規模拡大
- ｜ 世界各国の品質基準を満たすグローバルな開発体制の推進と製品ラインナップの拡充
- ｜ 積極的なアライアンス提携等による新たなビジネス圏への展開

## 6 基本戦略と重点施策

### 基本戦略

#### 戦略4

### ESG活動を基盤とした ライフサイエンス企業としての信頼確保

#### 重点施策

##### 社会的責任

- 健全な経営基盤を支えるガバナンス体制、コンプライアンス体制を堅持・向上させる
- 健康・生命に関わる製薬企業としての誇りを持ち、社会貢献活動に積極的に取り組む
- 社会的責務の一つとして、事業活動に伴う環境負荷の低減と改善に向けた取り組みを継続的に推進する
- 個々の強み・能力を最大限に生かす多様な成長の機会を提供しつつ、柔軟な働き方を促進することで働きやすい環境づくりに努める

## 7 計数目標

計数目標	基準値 (2019年3月末)	目標値 (2022年3月末)
海外売上高	355億円	● 600億円
PMP8による コスト削減	—	● 累計150億円以上
配当性向	25%~30%	● 同水準の配当性向を維持
女性管理職比率	11.5%	● 15%以上
原薬複数化比率	自社製品の45%	● 自社製品の70%

| ネットD/Eレシオは (2019年3月末0.8倍) 1.0倍程度を維持

| 2022年3月末までに研究開発費は累計330億円、設備投資は累計190億円を予定